

大地震からわが家を守る10か条

(防災白書などによる)

1

まずわが身の安全を図れ



なによりも大切なのは命。地震が起きたら、まず第一に身の安全を確保する。

2

すばやく火の始末 あわてず、さわがず冷静に



「火を消せ!」とみんなで声をかけ合い、調理器具や暖房器具などの火を確実に消す。

3

非常脱出口を確保する



とくに鉄筋コンクリートの建物内にいるときは、閉めたままだと建物がゆがみ、出入り口が開かなくなることがある。

4

火が出たらまず消火



「火事だ!」と大声で叫び、隣近所にも協力を求め初期消火に努める。

5

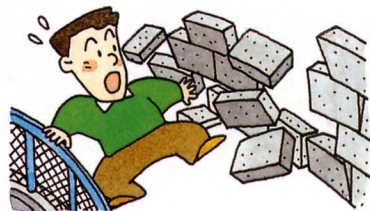
外に逃げるときはあわてずに



外に逃げるときは、瓦やガラスなどの落下物に注意し、落ち着いた行動を。

6

狭い路地、塀ぎわ、 崖や川べりに近寄らない



ブロック塀・門柱・自動販売機などは倒れやすいので要注意。

7

山崩れ、崖崩れ、 津波に注意する



山間部や海岸地帯で地震を感じたら、早めの避難態勢を。

8

避難は徒歩で、 持物は最小限にする



避難場所には徒歩で避難を。車やオートバイは使わない。

9

みんなが協力し合って 応急救護



お年寄りや身体の不自由な人、けが人などに声をかけ、みんなで助け合う。

10

正しい情報をつかみ、 余震を恐れるな



うわさやデマに振り回されない。ラジオやテレビで正しい情報を。